

 **YAMAHA**
Make Waves

Electone STAGEA
60 **15**
ANNIVERSARY

Yasuya Tomioka

Hiroshi Kubota

Masashi Takano

Daiju Kurasawa

60th Anniversary

エレクトーンプレミアムライブ in 名古屋

Electone PREMIUM LIVE
in 名古屋

2020.2/29 OPEN 16:30
START 17:30

名古屋市公会堂 大ホール

全席自由

〒466-0064 名古屋市昭和区鶴舞一丁目1番3号 5,000円(税込)

《チケット取り扱い》 チケットぴあ TEL:0570-02-9999 <https://t.pia.jp/> 【Pコード 166-160】
ヤマハミュージックリテイリング 名古屋店・小牧店・浜松店
中部ヤマハ特約楽器店(裏面に記載)

主催:株式会社ヤマハミュージックリテイリング 名古屋店
後援:株式会社ヤマハミュージックジャパン 協賛:中部ヤマハ特約楽器店

公演に関する
お問い合わせ

(株)ヤマハミュージックリテイリング 名古屋店 <https://www.yamahamusic.jp/shop/nagoya/>

TEL.052-201-5194 (鍵盤楽器売場) 営業時間10:30~19:00 定休日 火曜日 ※火曜日が祝日の場合は営業

Musicians Profile

～ 演奏者 プロフィール ～

Hiroshi Kubota 窪田 宏

北海道帯広市出身。音楽家である父親の影響で、4歳からピアノを始める。中・高校時代に熱中したRock、JAZZでオルガンに魅了され、17歳でエレクトーンを始める。1979年、作曲・演奏活動を開始。1984年「THE ELECTRIC FUTURE」(2枚組LP)でレコードデビュー。以来、国内ではボニーキャニオンより通算11枚にわたるアルバムをリリース。ビート感溢れるスリリングなナンバー、窪田独自のサウンドは、コンポーザー、アレンジャーとしても高く評価され、その作品は「モーターランド2」、「ワイド!スクランブル」等多くのTV番組テーマにもなっている。2000年9月、New YorkのJAZZレーベルTruspaceから「I'll Always Be」で全米デビュー。同年10月には、New York/Knitting Factory等でライブを行い、ソウルフルでファンキーなサウンドが好評を博す。2004年4月にアルバム「KOOL JAMMING」をリリース。2015年12月には11年ぶりのソロアルバム「Vocalize」をヤマハミュージックコミュニケーションズより発売。JAZZ FUNKを愛し、そのスリリングなステージで常に音楽シーンの先端を行くトッププレイヤーである。



Yasuya Tomicka 富岡 ヤスヤ

世界を股にかけるエレクトーンパフォーマー。アーティストとして優れた音楽センスと、圧倒的なライブパフォーマンスで絶大な人気を誇り、アレンジャーやコンポーザーとしてもその才能を発揮している。エレクトーンとの出会いは19歳。それは、新しい音楽との出会いの瞬間だった。今までにないアグレッシブなスタイルで、ROCK、FUNK、WORLD MUSICなどのもつBEATを次々にオリジナルなスタイルで生み出していく。ファーストシングル「yaSya◆HIDE&SEEK ～もういいかい・・・～」ではアジアの人々に向けたメッセージ色をさりげなく取り入れた楽曲で音楽の国境を越えた。1996年、黒人ゴスペルグループ「R. P. M」のリードボーカリストデビッド・ローソンと運命的な出会いを果たしセカンドシングル「I REALLY WANT TO SAY」をリリース。yaSyaの作り出すR & B SOUNDはネイティブアメリカンにも受け入れられることとなる。LIVEでは、数多くの音楽ファンの拡大に成功する。また1998年、長野冬季オリンピックでは「モーグル競技」で世界初のライブ演奏を披露すると共に、20曲以上のORIGINAL MOGUL SOUNDをクリエイトする。世界各国に「yaSya」サウンドが届けられた瞬間だった。2003年、DREAMS COME TRUEの4年に1度の大イベント「史上最強の移動遊園地」DREAMS COME TRUE WONDERLAND 2003にTOUR MEMBERとして参加し、エレクトーンをあのドリカムサウンドに見事にコラボレートさせた。



Masashi Takano 鷹野 雅史

1台のエレクトーンを自身のオーケストラ(STAGEAフィル!)に見立て、指揮者さながらの圧巻のパフォーマンスで様々なジャンルの音楽を奏でる独特なスタイルは、日本国内のみならず、海外からも広く支持されている。歴訪した国は欧米、アジア・オセアニアなど32ヶ国。1988～89年、ニューヨークのマンハッタンに駐在。当時、カーネギーホール横に有ったヤマハコミュニケーションセンター(YCC)のR&Dで一流ミュージシャンとの交流を深めながら、エレクトーンを含む電子鍵盤楽器の普及啓蒙に努める。演奏活動のほか、作・編曲、指揮、コンサートプロデューサーも行う。教育的活動にも熱心で、現在、名古屋芸術大学芸術学部の教授。2013年春、演劇界の名門、無名塾の公演『ウィリアム・シェイクスピア』では音楽制作を担当。F.クーラリの音楽を自身の編曲とオーケストレーションを施し、STAGEAフィルが演奏した音楽が本番を支えた。CDは英国のGrosvenor Record、日本のヤマハミュージックメディア(YMM)から複数枚リリース。特にSTAGEAフィルとの三作の『MAX to the MAX』シリーズ(YMM)と、2017～2018年に立て続けにリリースされた二作の『AMAZING!! STAGEA PHILHARMONY ♪』シリーズ(自己出版)は好評を博している。楽譜もYMMより多数出版されている。



Daiju Kurasawa 倉沢 大樹

栃木県宇都宮市生まれ。7歳よりピアノ、15歳よりエレクトーンをはじめ。1993年 シンガポールで開催された第30回インターナショナル・エレクトーン・フェスティバルにてグランプリを受賞。1998年 長野冬季オリンピックでは、長野市内の「セントラル・スクエア」において行われた、スキー競技など屋外競技の表彰セレモニーの際の音楽を担当。2005年 長野で行われた、スペシャルオリンピックにてテーマ曲『栄光の軌跡』製作。2007年ヤマハミュージックメディアよりCD「JAZZ IZ」をリリース。現在は、全国各地でのコンサートのほか、ヤマハミュージックメディアより作品集を出版するなど、アレンジャーとしても活躍。またジャズピアニストとしても活動している。エリックミヤシロ、大坂昌彦、桑山哲也、佐山雅弘、島田歌穂、神保彰、チカシガー、デュークエイセス、中西俊博、HARU、東原力哉、マーサ三宅、マリーン、宮崎陸、向谷実、村上PONTA秀一、などと共演。

